



# さんじょう

八戸市立三條小学校  
令和2年度学校だより  
第17号  
令和2年11月17日  
☎ 27-2216

## 急がば回れ

校長 河村雅庸

先週10日には初雪が降り、また、12日は今年度初の冬日となりました。暦の上では11月7日が立冬。先週は、まさに初冬を感じた一週間となりましたが、週末からは、朝夕の冷え込みはあるものの日中の寒さも緩み、小春日和の日が続いております。保護者・地域の皆様にはご健勝のことと存じます。

さて、先週の金曜日、本校で市内の初任の先生方を対象とした学級活動の研修会が開催されました。そして、初任の先生方への示範授業として、2年2組、3年2組、6年1組の3学級が授業を公開しました。2年2組は「2年2組のオリジナルキャラクターをつくろう」、6年1組は「思い出になる卒業アルバムのクラスページを作ろう」を議題とした学級会（話し合い活動）を行いました。また、3年2組は「夢につながる学習と生活」というテーマで、自分の夢に向けて、日常の学習や生活でがんばることを具体的に考えました。たくさんの先生方が見つめる中、3つの学級ではいつも以上に熱心に話し合う子どもたちの姿が見られました。参観された先生方からも、「子どもたちが友達の考えを大切にしている温かさを感じた」「聴く・話す態度がよく育っている」などの言葉をたくさんいただきました。輝く三条っ子の姿を市内の先生方に見ていただくよい機会ともなりました。



ところで、前号でも触れましたが、今年度の校内研究では学級活動（学級会）の授業研究に取り組んでいます。学級活動は自発的・自治的な活動（自分たちで、生活上の課題を見つけて、解決していくということです。）を基本とします。そのために、教師の適切な指導がより重要となります。また、その過程で培われる、お互いを尊重しながら聴く・話す態度や、自分たちでよりよい学級や学校の生活を築いていこうとする態度は、本校で目指す児童の姿そのものです。そして、温かな人間関係に支えられた集団の中でこそ、主体的で協働的な学びが成立し、確かな学力の向上や一人一人の自己実現が図られると考えます。

学力の向上を図る即効薬は、教科書を読み、ドリルを繰り返し、宿題を増やすなどと考えがちです。しかし、実際は、基盤となる学級・学校での人間関係が育っていなければ、なかなか効果は期待できません。今取り組んでいることは、学力の向上の面からすれば、一見遠回りに感じるかもしれませんが、本校の子どもたちが持っている潜在能力を引き出し力を伸ばすために、とても大切なことと考えています。いわば、「急がば回れ」の手法です。

（当然のことですが、日常の教科の授業をおざなりにして、学級活動だけを強調しているわけではありません。学級活動で培ったものを基底に、わかりやすい授業の実践を図っています。いわば、車の両輪のようなものです。）

11月も折り返しとなりました。2学期もまとめの時期へと移っていくとともに慌ただしくなりがちですが、焦らずじっくりと教育活動を進めて参りたいと思っています。そして、子どもたちが元気な学校生活を送るために大切なのは、やはり、規則正しい生活習慣です。「早寝・早起き・朝ご飯」。これからの冬を元気に乗り越えるためにも、ご家庭での健康管理をよろしくお願いいたします。

## ～思いやりの心で～

今般の青森県内における新型コロナウイルス感染症の拡大及び八戸市でのクラスター発生では、一時期、緊張感が高まりました。学校でも改めて気を引き締め、感染予防対策に努めているところです。

ただ、そのような中残念に思うことは、依然として感染者への誹謗中傷が続いているということです。感染してしまうのは決して他人事ではありません。ましてや、望んで感染する人もいません。どんなに感染予防対策をしたとしても、感染しないという保障はありません。本校教職員、児童、保護者の中から感染者が出る可能性もあります。もし、本校関係者や地域の皆様に感染者が出たとしても、お互いを思いやり、いたわりの心で回復を願うようにしていきたいものです。今こそ、思いやりの心で。

## ～11月前半の授業の様子から～

学校ブログでも紹介していますが、子どもたちの思いやりの心が伝わってくる活動の様子です。



<ミシンの使い方をみんなで確認>



<ふれあい班でのボール送り対決>



<隣の学級を招待して秋まつり>



<工作の学習でアイデアの提案>



<理科の学習で紙笛に挑戦>



<助け合う姿いっぱい掃除の時間>